

OAPEC(アラブ石油輸出国機構)との第6回コンファレンス開催 (サウジアラビア)

2009年5月にアラブ石油輸出国機構(以後、OAPEC)事務局からJCCPに対して協力の可能性を打診されたのがきっかけで、2010年チュニジアで大畠経済産業大臣とアムル・ムーサ アラブ連盟事務総長(H.E. Mr. Amre Moussa, Secretary General, the League of Arab States)立会いの下、OAPECとJCCPとの間で協力関係の意向を確認する文書(LOI)が締結されました。

それ以来、JCCPはOAPECと共にコンファレンスを5回開催して来ており、このたび2024年6月25日(火)、26日(水)に、サウジアラビア・リヤドのクラウンプラザ RDC ホテル＆コンベンションにおいて、サウジアラビアエネルギー省の協力を得て、サウジアラビアエネルギー省 カリッド・アルメハイド 副大臣(H.E. Mr. Khalid Almehaid)、ナセル・アルドッサリー 副大臣(H.E. Dr. Nasser Aldossary) および駐サウジアラビア日本国大使館河原一貴臨時代理大使等のご参列の下、JCCP、OAPECとの共催で第6回コンファレンスを開催しました。

テーマは「石油下流工業における炭素排出削減への道筋」(Pathways to Reduce Carbon Emissions in the Petroleum Downstream Industries)で、100名の会場参加、80名のオンライン参加を得ました。開会式には、上記副大臣、臨時代理大使の他、OAPEC ジャマル・アルローガニ事務総長(H.E. Eng. Jamal Al Loughani, Secretary General) およびJCCP中井専務理事の4氏が挨拶を行いました。

2日間に渡るテクニカル・セッションでは、24件の講演が6セッションに分かれ、日本から6人の講師が講演しました。各講演後、参加者との活発な質疑応答が交わされ、参加者から高い関心が寄せられました。日本人講演者(出張委嘱者)および講演タイトルは、以下の通り(講演順・敬称略)。

1) 武村信之(トヨタ自動車):

カーボンニュートラルに向けたマルチパスウェイ戦略

Multi Pathway Approach for Carbon Neutral

2) 宮副栄一郎(川崎重工業)

カーボンニュートラルに向けた国際液化水素供給連鎖

Toward Carbon Neutrality International Liquefied Hydrogen Supply Chains

3) 山村和輝(水素バリューチェーン推進協議会)

水素社会実現に向けたJH2A(水素バリューチェーン推進協議会)の活動

JH2A Activities to Realize a Hydrogen Society

4) 西澤勝弘(東洋エンジニアリング)

エネルギー移行に向けた合成燃料製造技術

e-fuel Production Technologies for Energy Transition

5) 小池一規(日揮グローバル)

水素製造と炭素回収の統合

Integrating Carbon Capture with Hydrogen Production

6) 新地菊子(三菱総合研究所)

炭素市場の機会と挑戦における現状

Current Status, Opportunities and Challenges of Carbon Market



開会セレモニーでの主催者および来賓者

河原一貴 駐サウジアラビア日本国大使館臨時代理大使(左から1番目)

中井毅 JCCP専務理事(左から4番目)

カリド・アルメハイド サウジアラビア エネルギー省 副大臣(左から5番目)

ジャマル アルローガニ OAPEC 事務総長(左から6番目)



ギフト交換

中井専務理事(左)と ジャマル アルローガニ OAPEC 事務総長(右)



Session I

西澤勝弘氏(左から1番目)

武村信之氏(左から3番目)

宮副栄一郎氏(左から4番目)

山村和輝氏(左から5番目)



Session IV

小池一規氏(左から1番目)

新地菊子氏(左から2番目)



コンファレンス会場様子

(技術協力部 岩松栄治)